

令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 5号

令和6年4月26日(金)発行

校長 関根 崇史

【児童・生徒引き渡し訓練について】

4月12日(金)配付の通知(児童・生徒引き渡し訓練のお知らせ【二次案内】)でお知らせしてある通り、**5月2日(木)に引き渡し訓練を実施(雨天決行)**します。

引き渡し訓練とは、保育所や学校といった施設において、保護者が子供を迎えに行き、引き取る訓練です。学校であれば、「子供だけで下校させるのは危険な状況」の災害や事件が発生したという想定で行ないます。今回は、震度5強の大きな地震が、学校にいるときに起きたという設定です。



保護者の方に迎えに来ていただくのは「子供の命を守るため」です。子供たちには「もしもの場合にどうするのか」を考えさせながら、真剣な態度で参加させたいと思っています。保護者の皆様につきましても、安全に避難することを子供たちと一緒に考えながら参加していただくと有り難いです。引き渡し訓練は親子で参加する避難訓練ということもできます。この訓練を活用し、親子で防災について考える機会にしてみてください。特に以下の3点についてお願いします。

①より安全な避難先を考えてみる

1つ目は「どこがより安全な避難先か」を考えることです。災害や事件といった危険が迫っているなら「より安全な場所」を判断し、行動しなければなりません。東日本大震災では、子供を引き渡された後、避難途中で親子が津波の犠牲になってしまったケースがありました。津波が予想される中、保育所や学校が高台にあるならば、「そこにとどまる」または「その場からより高台へ移動する」という判断ができなかったのかとも思ってしまうかもしれません。しかし、災害時はパニックになり、なかなか冷静な判断ができません。訓練だからこそ、冷静な状態で考えられるはずですが、想定された状況の中、子供の命を守るためには「どこに避難するのか」「どのルートを通るのか」を考えてみてください。

②自宅や避難先までの危険箇所をチェックする

2つ目は、保育所や学校から自宅までの道を、防災防犯の視点でチェックすることです。小学生の場合、子供だけの登下校中に大地震が発生したり、不審者にでくわしたりする可能性もあります。引き渡し訓練の日には、こういったことを頭に入れ、お子さんと一緒に通学路を歩いてみてください。例えば、大きな地震では自動販売機やブロック塀が倒れてくる可能性があります。それらの場所を把握しつつ、「大きな地震がきたら頭を守る」「危険な物が倒れてこないか周囲に気を向けながら歩く」といった、防災知識を教えてあげてください。

③自宅の防災グッズ・防災対応を点検・確認する

3つ目は、防災グッズ・防災対応の点検や確認です。ストック食品の期限は切れていないか、避難リュックに必要なものが入っているか等を点検してみてください。また、防犯の観点から、防犯ブザーの電池が切れていないか確認しておくのも大切です。さらには、家にいるときに災害が起こった際の対応も併せて確認しておいてください。

【当日の流れ】※詳細は4月12日(金)配付の通知を再度ご確認ください。

13:20 連絡メールにより、訓練開始の連絡

13:40 児童、校庭へ移動 坂東小に兄弟姉妹がいる四中生も坂東小へ移動

※緊急時を想定し、保護者の皆様は徒歩か自転車でのお迎えをお願いします。

14:00 引き渡し訓練開始

※兄弟姉妹がいる場合には、中学生から順に引き渡しを行ないますので、一番学年が上のお子さんのクラス前に並んでください。お並びいただいた順に子供を呼び、関係を確認した上でお子さんを引き渡します。

14:40 学童へ帰る児童及び迎えのない児童は下校(下校先を確認)

重要